

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	高齢者介護予防普及啓発事業			会計	款	項	目	大	小
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	高齢者支援課				
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	石井 由美子				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	65歳以上の市民及びその支援の活動に関わる者	意図	介護予防に関する知識の普及啓発を行う。
事業内容	65歳以上の市民を対象として、要介護・要支援状態となることを予防するための介護予防に関する知識の啓発のための講演会の開催やパンフレットの作成・配布を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	介護保険法の改正に伴い、地域支援事業として平成18年度に事業開始。講演会の開催と、地域の催し等での依頼に対応している。地域支援事業として、国・県・1号保険料等の地域支援事業交付金の対象となっている。認知症を含めた事業展開を行っていたが、平成27年4月からは認知症については、認知症対策施策推進事業として実施となった。平成26年度から介護予防教室講師派遣事業と一体となった取り組みを実施している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	講演会参加人数	638	340	436	人	↑↑↑
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

  

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	3,057,706	4,364,027	4,434,730
事業費(b)(円)	630,506	1,274,227	1,234,230
職員給与費(c)(円)	2,427,200	3,089,800	3,200,500
人役・職員(人)	0.30	0.40	0.40
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)	0.10	0.20	0.30
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

単発の教室を実施するのではなく、教室終了後も市民が継続して介護予防の取り組みを行うことを目指し、市民が自主的に活動することができる「ながいき100歳体操」を主な内容とした介護予防教室である「筋力アップ教室」を実施した。1コース8回を2コース実施し、体操以外に栄養士や、歯科衛生士、リハビリテーション専門職による講義を含めた。  
 1コース目 延参加人数 219名  
 2コース目 延参加人数 217名

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	継続した取り組みが期待できるながいき100歳体操の取り組みを柱とし、介護予防に関する知識が習得できるよう効率的かつ自主化につながるよう内容や期間を検討していく。	③取組の課題	体操取組の希望があっても、自主的に活動して取り組みを継続することについて抵抗がある市民が多く、自主的かつ継続的な取り組みにつなげていくことが困難である。
②今年度(H29)に実施した取組	教室終了後の自主活動について案内し、終了後自主活動グループが1つ立ち上がった。その他の参加者からも自主的な活動を続けたいという相談があり、取り組みについて検討中である。	④今後(H30以降)の改善計画	市民が自主的に介護予防活動に取り組むことが出来るように、普及啓発の方法や、事業内容について検討していく。